

第2節 資源循環プロジェクト

『もったいない』の心を大切に、まずは、ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）の2Rに特化してごみを減らし、それでも出たごみは再生利用（リサイクル）により循環型社会の形成を推進します。

【奈良市環境基本計画（改訂版）の関連指標】

指標			平成24年度	平成25年度	目標値 (平成32年度)	担当
ごみ搬入量 (再生資源搬入量を除く。)(t)			102,724	102,619	91,000	企画総務課
家庭系ごみ搬入量(t)			59,867	60,690	53,700	
事業系ごみ搬入量(t)			42,857	41,929	37,300	
達成度	波及効果	効率性	推進会議のコメント			
1	2	3	事業所に向けては年々成果が出ているが、課題として家庭に向けての取組の強化が必要である。毎年計画的に削減を図ることは大事で、同時に抜本的対策も必要と考える。更なるゴミの減量のために適正なゴミ処理原価を把握することは重要と思われる。			
総合評価						
C						

一般廃棄物の現状

家庭系ごみ（家庭から排出されるごみ）は、平成11年3月の全市9種分別（燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみ、有害ごみ、プラスチック製容器包装、空き缶、ガラスびん、ペットボトル、飲料用紙パック）の導入を契機に減量が進み、平成25年度の搬入量はピーク時の平成10年度より約30%減少しています。

また、事業系ごみ（事業所等から排出される一般廃棄物）も3R（Reduce、Reuse、Recycle）に取り組む事業所の増加やごみ減量の種々の施策により、平成13年度以降減量が進み、平成25年度の搬入量はピーク時の平成12年度より約30%減少しています。

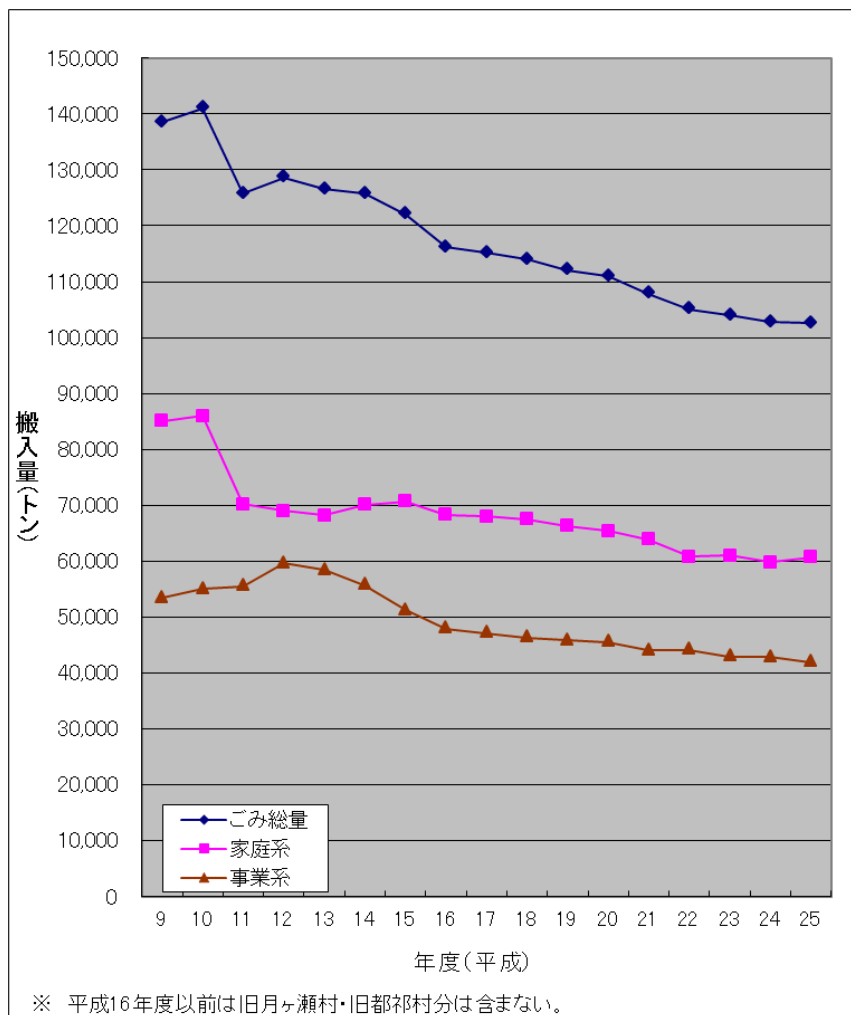
今後も循環型社会の形成を推進するため、市民や事業者にごみの減量意識の向上や適正排出を目的とした啓発や広報を実施します。

(表2-7) 年度別ごみ搬入量 (単位: トン)

年度	ごみ 総搬入量	家庭系ごみ 搬入量	事業系ごみ 搬入量	対前年度増減率		
				総搬入量	家庭系	事業系
9	138,498.58	85,075.00	53,423.58	-	-	-
10	140,995.61	86,011.66	54,983.95	1.8%	1.1%	2.9%
11	125,706.03	70,197.25	55,508.78	-10.8%	-18.4%	1.0%
12	128,663.33	68,998.79	59,664.54	2.4%	-1.7%	7.5%
13	126,560.77	68,172.17	58,388.60	-1.6%	-1.2%	-2.1%
14	125,765.05	70,079.96	55,685.09	-0.6%	2.8%	-4.6%
15	121,998.64	70,717.75	51,280.89	-3.0%	0.9%	-7.9%
16	116,179.29	68,276.33	47,902.96	-4.8%	-3.5%	-6.6%
17	115,174.68	68,055.96	47,118.72	-0.9%	-0.3%	-1.6%
18	113,906.84	67,537.15	46,369.69	-1.1%	-0.8%	-1.6%
19	112,101.59	66,300.39	45,801.20	-1.6%	-1.8%	-1.2%
20	110,951.10	65,380.16	45,570.94	-1.0%	-1.4%	-0.5%
21	107,873.34	63,876.20	43,997.14	-2.8%	-2.3%	-3.5%
22	105,019.60	60,843.65	44,175.95	-2.6%	-4.7%	0.4%
23	104,005.40	61,039.71	42,965.69	-1.0%	0.3%	-2.7%
24	102,723.84	59,867.02	42,856.82	-1.2%	-1.9%	-0.3%
25	102,618.74	60,689.69	41,929.05	-0.1%	1.4%	-2.2%

※ 平成16年度以前は月ヶ瀬村・都祁村を含まない。

(図2-9) ごみ搬入量の推移



(表2-8) 平成25年度のごみ搬入量

系列	ごみの種類	搬入量(トン)	総搬入量に対する割合	系列に対する割合
家庭系	可燃	50,864.87	49.6%	83.8%
	不燃	5,724.61	5.6%	9.4%
	大型	2,165.58	2.1%	3.6%
	埋立	1,919.32	1.9%	3.2%
	有害	15.31	0.0%	0.0%
	小計	60,689.69	59.2%	100.0%
事業系	可燃	40,882.27	38.9%	95.3%
	不燃	1,974.55	1.9%	4.7%
	埋立	0.00	0.0%	0.0%
	小計	42,856.69	40.8%	100.0%
総搬入量		102,723.84	100.0%	

【実施事業】

1 再資源化事業

(1) 再生資源定期収集

平成4年7月から空き缶と空きびんの分別収集をモデル地区で開始し、平成9年12月にはペットボトル・飲料用紙パックを回収品目に加え実施してきました。

全市での再生資源分別収集として、平成11年3月22日から、空き缶・ガラスびん・ペットボトル・飲料用紙パック及びプラスチック製容器包装の分別収集を開始し、再資源化を図っています。

(表2-9) 再生資源定期収集の回収実績

単位：kg

種別	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
空き缶	アルミ	207,373	198,099	195,680	189,524	190,085
	スチール	234,136	264,922	224,297	256,714	221,463
	計	441,509	463,021	419,977	446,238	411,548
ガラスびん	1,783,543	1,795,388	1,755,911	1,700,814	1,666,816	
ペットボトル	393,090	385,575	382,605	383,355	408,015	
紙パック	70,065	68,045	66,901	72,890	72,513	
合計	2,688,207	2,712,029	2,625,394	2,603,297	2,558,892	

種別	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
プラスチック製容器包装	2,709,250	2,862,790	2,743,490	2,473,960	2,583,320

(2) 公共施設資源回収

平成4年9月から、公共施設における空き缶回収を開始し、平成9年12月にはペットボトル・飲料用紙パックを回収品目に加え、現在、市役所・出張所・行政センター・公民館・人権文化センター・連絡所、保健所等を拠点として回収を行い再資源化を図っています。

(表2-10) 公共施設資源回収実績

単位：kg

種 別	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
空き缶	アルミ	19,767	19,868	17,085	15,243	14,256
	スチール	24,817	29,805	25,627	22,864	21,385
	計	44,584	49,673	42,712	38,107	35,641
ペットボトル	40,940	46,600	40,770	38,775	39,210	
紙パック	7,560	8,865	8,559	7,335	6,057	
合 計	93,084	105,138	92,041	84,217	80,908	

(3) 環境清美センター内資源回収場での資源回収

環境清美センターに自己搬入された再生資源を分別回収し、ごみ減量と再資源化を図っています。

(表2-11) 環境清美センター内資源回収場での資源回収実績

単位：kg

種 別	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
空き缶	アルミ	23,578	29,477	29,486	30,792	30,544
	スチール	35,366	44,215	44,230	46,188	45,812
	計	58,944	73,692	73,716	76,980	76,356
ガラスびん	134,977	140,422	143,739	162,856	152,054	
ペットボトル	33,750	39,145	34,905	36,930	35,295	
紙パック	4,815	5,550	5,940	6,645	7,470	
合 計	232,486	258,809	258,300	283,411	271,175	

種 別	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
新聞	191,640	146,080	152,680	155,500	137,200
雑誌	356,590	355,750	376,970	369,880	363,500
ダンボール	236,770	185,550	198,400	203,570	196,470
布類等	139,310	128,030	157,190	154,980	161,740
合 計	924,310	815,410	885,240	883,930	858,910

(4) 発泡スチロール製食品トレイ回収

平成7年度から市役所・出張所・行政センター・公民館・人権文化センター等を回収拠点として、発泡スチロール製食品トレイを回収し、ごみ減量と再資源化を図っています。

(表2-12) 発泡スチロール製食品トレイ回収実績

単位：トン

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
1.47	1.04	1.21	1.28	0.88

(5) 生ごみ処理機器購入助成

家庭内で発生する生ごみを自家処理するため生ごみ処理機、生ごみ堆肥化容器を購入する市民に対し、購入費の一部を助成しています。

○助成内容

- ・ 生ごみ処理機 購入価格の2分の1 (限度額20,000円) で1世帯1基
- ・ 生ごみ堆肥化容器 購入価格の2分の1 (限度額 5,000円) で1世帯2基以内

(表2-13) 生ごみ処理機器購入助成実績

単位：件

種 別	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
生ごみ処理機	47	38	29	42	41
生ごみ堆肥化容器	113	62	56	43	67
合 計	160	100	85	85	108

2 ごみ減量啓発キャンペーン

- (1) ごみ減量及び美化に関する啓発作品（ポスター）の募集
（夏休み期間中）

廃棄物問題に対する意識啓発を目的に、市内の小・中学校からごみ減量及び環境美化に関する啓発作品（ポスター）を募集しました。

＊平成25年度の応募総数 小学校16点・中学校153点の計169点



- (2) 「環境フェスティバル2013」の開催

（6月2日開催）

6月の環境月間にちなみ、ごみ処理の拠点である環境清美センターにおいて施設見学会や市民から公募した方々の参加によるフリーマーケット等を開催しました。フリーマーケットの出店団体数は約60団体でした。



- (3) 「ごみゼロ啓発作品」入賞者表彰式の開催

（10月20日開催）

(1)のごみ減量及び環境美化に関する啓発作品（ポスター）の入賞者の表彰式を行いました。

※例年開催している「ならクリーンフェスタ」は雨天のため中止しました。



3 ごみ減量キャラバン

様々なごみ減量活動に取り組んでいる市民団体、「奈良市ごみ懇談会」と協働で市内の公民館等において「ごみ減量キャラバン」を平成24年度から開催し、ごみの分別排出の啓発やごみ減量の手法の紹介を行っています。平成25年度は6月11日の南部公民館を皮切りに計19か所の公民館で開催しました。

